

山武市子ども・子育て支援に関するアンケート調査 (就学前児童の保護者用)

日頃より、市政の運営にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、「第3期山武市子ども・子育て支援事業計画（令和7～11年度）」の策定を進めるにあたり、子育て家庭の生活状況や市の施策に対する、保護者の皆様のご意見・ご要望を計画に反映させるために保護者の皆様にアンケート調査を実施いたします。

本調査は、小学校就学前のお子さん若しくは小学生のお子さん又はその両方がいらっしゃるご家庭を対象に実施するものです。

なお、ご回答いただいた調査内容は、統計的に処理を行い、本市の計画及び事業実施に利用させていただくものであり、回答者個人が特定されることはありません。

本市の新しい子育て支援策を検討するための貴重なご意見とさせていただきますたく、ご多忙とは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年3月

山武市長 松下 浩明

ご記入にあたってのお願い

1. 封筒のあて名のお子さんについて、お子さんの保護者の方がお答えください。
 2. 特に指定のない場合、令和6年3月1日現在でお答えください。
 3. ご回答は、選択肢に○をつけていただく場合と数字をご記入いただく場合がございます。また、「その他」を選択した場合には、() 内に具体的な内容をご記入ください。
 4. 次ページに「教育・保育等」の用語の説明がありますので、参考にしながらお答えください。
 5. ご記入いただいたアンケート用紙は、お手数ですが、3月25日(月)までに同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストにご投函ください。また、市立のこども園、幼稚園、私立保育園に通われている方は、各園でもお預かりします。
- ※切手の貼付やお名前の記入は必要ありません。

ご回答いただくうえで、ご不明な点や調査に関するお問い合わせについては、下記までお願いいたします。

山武市 保健福祉部 子育て支援課 児童福祉係
電 話：0475-80-2631
FAX：0475-80-2650

市マスコットキャラクター「SUNムシくん」です。
アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。



教育・保育事業の説明

※この調査における用語の説明は以下のとおりです。説明を見ながら回答してください。

※山武市で実施していない事業や、利用する時に利用料を伴う事業も含まれます。

教育・保育事業	認定こども園、幼稚園や保育園等のことです。 また、定期的な教育・保育の利用とは、月単位で継続して認定こども園・幼稚園・保育園等に通うことです。
幼稚園	
市立幼稚園：日向幼稚園	3歳～5歳児に対して学校教育を行う施設です。
認定こども園（短児部）の預かり保育	
市立認定こども園： なるとうこども園・なんごうこども園・しらはたこども園・ まつおこども園・おおひらこども園	家庭において保育を受けることが一時的に困難となった在籍児を、通常保育の時間外にお預かりする事業です。
認定こども園	
市立認定こども園： なるとうこども園・なんごうこども園・しらはたこども園・ まつおこども園・おおひらこども園	幼稚園や保育園の教育と保育の機能を併せ持った施設です。
認可保育園	
私立保育園： 日向保育園・若杉保育園・蓮沼保育園	保育者が昼間家事以外の労働を常に行っている等により、就学前の児童を保育する事業です。
その他の認可外保育施設	
宇宙あそびむら・さんむ医療センター 託児所・ラフォーレ&松尾ゴルフ倶楽部・ ヤクルト成東保育室・ヤクルト松尾保育室	認可保育園ではないが、県へ届出をしている保育施設で、就学前の児童を保育する事業です。
小規模保育施設	
五反田こどもの家	市の認可を受け、0歳から2歳児までを対象に定員6人以上19人以下で家庭的保育に近い雰囲気のもと保育を行う事業です。
家庭的保育	
キッズアップ	保育者の家庭などで5人以下の子どもを保育する事業です。
事業所内保育施設（※）	企業が従業員の子どもを預かるために運営する施設です。
居宅訪問型保育（※）	ベビーシッターのような民間で、保育者が子どもの家庭で保育する事業です。
ベビーシッター	育児や家事を援助する民間サービスです。
一時預かり	
実施施設等： なるとうこども園・なんごうこども園・しらはたこども園・ まつおこども園・おおひらこども園・ 蓮沼保育園・五反田こどもの家	育児者の急用・私用等のため、認定こども園・保育園等の施設で一時的に子どもを預かるサービスです。
地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター） （市内4ヶ所の認定こども園及び保育園で実施）	主に就学前の乳幼児とその保護者が集まって遊んだり、育児の相談等ができる施設です。

ファミリー・サポート・センター事業（※）	地域住民が地域で育児や介護の援助を受けたい人と行いたい人が会員となり、保育園の送迎や預かり等、子育ての手助けをする仕組みです。
ショートステイ（短期入所生活援助事業）（※）	育児者の急用等のため、児童養護施設等で宿泊を含め子どもを預かるサービスです。
トワイライトステイ（夜間養護等事業）（※）	育児者の急用等のため、児童養護施設等で平日夜間・休日に子どもを預かるサービスです。
病児保育（※）	子どもが病気の時に預かるサービスです。
病後児保育	子どもが病気の回復期に預かるサービスです。
子育て世代包括支援センター（はぴねす）	保健師等が母子健康手帳の交付や不妊・妊娠・出産・子育てに関する様々な相談に応じます。

（※）が付いている事業は、現在山武市では未実施です。

小学生を対象に、以下の事業を実施しています。

放課後児童クラブ(学童保育) (すべての小学生が利用可能)	保護者が就労等で放課後保育できない小学校1～6年生を、支援員を配置して預かっています。平日は19時00分まで、土曜日及び長期休業中は、7時30分から19時00分まで開設しています。山武市では「学童クラブ」と呼んでいます。設問中は全て「学童クラブ」の表記となります。
放課後子ども教室 (緑海小学校と日向小学校で開催)	学校の空き教室、特別教室等を活用して、地域の方々の協力を得ながら、スポーツ・文化活動、交流活動等を行っています。保護者の就労の有無に関わらず、利用できます。

子どもの育ちをめぐる環境についてお伺いします。

問7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。（お子さんから見た関係であてはまるものすべてに○）

- | | | |
|----------------|-----------|--------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 |
| 4. 祖父母 | 5. 認定こども園 | 6. 幼稚園 |
| 7. 保育園・小規模保育施設 | 8. その他（ | ） |

問8 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に影響すると思われる環境は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | | |
|--------|----------------|-----------|---|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 認定こども園 | |
| 4. 幼稚園 | 5. 保育園・小規模保育施設 | 6. その他（ | ） |

問9 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|------------------------------------|---|-------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } | 問9-1△ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | | |
| 3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる | } | 問9-2△ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | | |
| 5. いずれもない ⇒問10△ | | |

問9で「1」または「2」と回答した方にお伺いします。

問 9-1 祖父母等の親族にあて名のお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

1. 祖父母等に気兼ねすることなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が心配である
4. 親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（

問9で「3」または「4」と回答した方にお伺いします。

問 9-2 友人・知人にあて名のお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

1. 友人・知人に気兼ねすることなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が心配である
4. 親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（

問 11-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間は必ず1時間単位、24時間制でお答えください。(口に数字で記入)

母親	家を出る時刻	<input type="text"/>	時頃	帰宅時刻	<input type="text"/>	時頃
父親	家を出る時刻	<input type="text"/>	時頃	帰宅時刻	<input type="text"/>	時頃

問 11で「3、4」と回答した方(パート・アルバイト等で就労している方)にお伺いします。

問 11-3 フルタイムへの転換希望はありますか。(1つに○)

母親	父親
1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. このままパート・アルバイト等への就労を続けることを希望	3. このままパート・アルバイト等への就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて、子育てや家事に専念したい	4. パート・アルバイト等をやめて、子育てや家事に専念したい

⇒問 12へ

問 11で「5、6」と回答した方(就労していない方)にお伺いします。

問 11-4 就労したいという希望はありますか。

(1つに○、希望がある方は就労形態や時間等を口に数字で記入)

(1) 母親

1. 今は子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

2. 一番下の子どもが大きくなったら働きたい ⇒ 一番下の子どもが 歳頃

3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

ア. フルタイム

イ. パートタイム、アルバイト等

→1週当たり 日 1日当たり 時間

(2) 父親

1. 今は子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

2. 一番下の子どもが大きくなったら働きたい ⇒ 一番下の子どもが 歳頃

3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

ア. フルタイム

イ. パートタイム、アルバイト等

→1週当たり 日 1日当たり 時間

問12で、「2. 利用していない」と回答した方にお伺いします。

問12-5 平日、定期的な教育・保育事業を利用していない理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 利用する必要がない(子どもの教育や発達のために、母親もしくは父親が就労していない)
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育事業の定員に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 利用したいが、サービスの利用方法(手続きや要件など)がわからない
9. 子どもがまだ小さいため、もう少し成長したら利用したい
10. 特に理由はない
11. その他()

すべての方にお伺いします。

問13 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。
(あてはまるものすべてに○) ※山武市では実施されていないものも含まれます。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 幼稚園 | 2. 認定こども園(短児部)の預かり保育 |
| 3. 認定こども園 | 4. 認可保育園 |
| 5. 小規模保育施設 | 6. 家庭的保育 |
| 7. 事業所内保育施設 | 8. その他の認可外保育施設 |
| 9. ベビーシッターなど居宅訪問型保育 | 10. ファミリー・サポート・センター |
| 11. その他() | |

問13-1 教育・保育事業を利用したい場所についてお答えください。(1つに○)

- | | | |
|--------|-------|-------|
| 1. 学区内 | 2. 市内 | 3. 市外 |
|--------|-------|-------|

問13で、「1. 幼稚園」または「2. 認定こども園(短児部)の預かり保育」に○をつけ、なおかつ3~11にも○をつけた方にお伺いします。

問13-2 特に幼稚園(認定こども園(短児部)の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。(1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてお伺いします。

問 14 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（子育て支援センターなど）を利用していますか。利用している方はおおよその利用回数（頻度）もお答えください。（あてはまるものすべてに○、□に数字で記入）

1. 子育て支援センター ⇒ 1ヶ月当たり 回程度
2. 市内で行われている類いの事業（子育てサークル、地域の子育て団体の活動）
⇒ 具体名： _____ ⇒ 1ヶ月当たり 回程度
3. 利用していない
⇒ 理由： _____

問 15 子育て支援センター等を今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用回数を増やしたいと思いませんか。利用希望のある方はおおよその利用希望回数をお答えください。（1つに○、□に数字で記入）

1. 利用していないが、今後利用したい ⇒ 1ヶ月当たり 回程度利用したい
2. すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい
⇒ 1ヶ月当たり 更に 回程度増やしたい
3. 新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない

問 16 山武市で実施している事業について、A～Cそれぞれお答えください。（それぞれあてはまるものすべてに○）

	A		B		C	
	知っている		利用したことがある		今後利用したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
1. すくすく広場	1	2	1	2	1	2
2. パパママサロン（両親学級）	1	2	1	2	1	2
3. 赤ちゃん訪問	1	2	1	2	1	2
4. 一時預かり	1	2	1	2	1	2
5. 子育て支援センター	1	2	1	2	1	2
6. 園庭開放（認定こども園・幼稚園・保育園）	1	2	1	2	1	2
7. ベビーサロン（ベビーマッサージ）	1	2	1	2	1	2
8. はじめて離乳食教室	1	2	1	2	1	2
9. いい歯モグモグクラス	1	2	1	2	1	2
10. 産後セルフケア&バランスボール教室	1	2	1	2	1	2
11. 産後ケア	1	2	1	2	1	2
12. 子育て世代包括支援センター（はびねす）	1	2	1	2	1	2
13. 家庭児童相談	1	2	1	2	1	2
14. 家庭教育相談	1	2	1	2	1	2
15. 家庭教育学級	1	2	1	2	1	2
16. 親業訓練講座	1	2	1	2	1	2
17. 子育てアプリ「さんむの子」	1	2	1	2	1	2
18. 子育てハンドブック「さんむの子」	1	2	1	2	1	2

【左記事業概要】

1. 「すくすく広場」：子育て支援センターで行う保健師等による身体計測、育児相談、栄養相談、手遊び、歯科相談等。
2. 「パパママサロン（両親学級）」：妊婦とその家庭を対象にした出産の準備、育児等に関する講座。（申込制）
3. 「赤ちゃん訪問」：保健師・助産師が新生児・乳児の家庭を訪問し、身体測定や育児相談を行っています。
4. 「一時預かり」：育児者の急用・私用等のため、認定こども園・保育園等の施設で一時的に預かるサービス。
5. 「子育て支援センター」：就学前乳幼児とその保護者が集い、遊んだり、育児相談等ができる施設。認定こども園・保育園で実施しています。
6. 「園庭開放（認定こども園・幼稚園・保育園）」：地域との交流や入園前の施設を見学していただくために、認定こども園等の施設を開放しています。
7. 「ベビーサロン（ベビーマッサージ）」：生後2～8か月児を対象にした助産師によるベビーマッサージの講座。（予約制）
8. 「はじめて離乳食教室」：生後4～6か月児を対象にした栄養士等による離乳食に関する講座。（申込制）
9. 「いい歯モグモグクラス」：生後1歳1か月～1歳3か月児を対象にした栄養士・歯科衛生士等による正しい食生活とむし歯予防に関する講座。（申込制）
10. 「産後セルフケア&バランスボール教室」：生後2～5か月児と母親を対象にしたリフレッシュ講座。（予約制）
11. 「産後ケア」：産後1年未満の母親と児を対象にした助産師によるサービス。ショートステイ・デイケア・産後ケア訪問。（申込制・有料）
12. 「子育て世代包括支援センター（はぴねす）」：保健師等が母子健康手帳の交付や不妊・妊娠・出産・子育てに関する様々な相談に応じます。
13. 「家庭児童相談」：子どもやDV、母子家庭に関する様々な相談に電話や面談できる場を子ども教育課に設置しています。
14. 「家庭教育相談」：家庭教育指導員が子育ての悩み事やお子さんの心配事等に関する相談に、電話や面談できる場を子ども教育課に設置しています。
15. 「家庭教育学級」：親の学びの場、親同士の交流の場として、各園・各小中学校にて講座を開催しています。
16. 「親業訓練講座」：親としての役割や子どもとのコミュニケーション方法に関する講座を開催しています。
17. 「子育てアプリ（さんむの子）」：子育てに関する情報や予防接種のスケジュール管理ができるアプリ
18. 「子育てハンドブック（さんむの子）」：子育てに関する様々な情報をまとめたハンドブック

あて名のお子さんの土曜日・日曜日・祝日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育の利用希望についてお伺いします。

問 17 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育（一時的な利用は除きます）の利用を希望しますか。希望がある方は利用したい時間帯をお答えください。（それぞれ1つに○、希望がある方は□に利用したい時間を数字で記入、時間は24時間制）

※親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない
 2. ほぼ毎週利用したい
 3. 月に1～2回は利用したい
- ⇒ 利用したい時間帯 時から 時まで

(2) 日曜日・祝日

1. 利用する必要はない
 2. ほぼ毎週利用したい
 3. 月に1～2回は利用したい
- ⇒ 利用したい時間帯 時から 時まで

問 17 の (1) もしくは (2) で「3. 月に1～2回は利用したい」と回答した方にお伺いします。

問 17-1 毎週ではなく、月に数回利用したい理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 月に数回仕事が入るため
 2. 平日に済ませられない用事を済ませるため
 3. 親族の介護や手伝いをするため
 4. 休養・息抜き（リフレッシュ）のため
 5. その他（ ）

「幼稚園」または「認定こども園（短児部）」を利用されている方にお伺いします

問 18 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の利用を希望しますか。希望がある方は利用したい時間帯をお答えください。（1つに○、□に数字で記入、時間は24時間制）

1. 利用する必要はない
 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
 3. 休みの期間中、週に数日利用したい
- ⇒ 利用したい時間帯 時から 時まで

問 18 で「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した方にお伺いします。

問 18-1 毎日ではなく、週に数日利用したい理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 週に数回仕事が入るため
 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
 3. 親族の介護や手伝いをするため
 4. 休養・息抜き（リフレッシュ）のため
 5. その他（ ）

(あて名のお子さんがこども園・幼稚園・保育園を利用している方のみ)

あて名のお子さんの病気の際の対応についてお伺いします。

問 12 で「1」と回答した平日、定期的に教育・保育事業を利用している方にお伺いします。

※利用していない方(問 12 で「2」と回答した方) ⇒ 問 20 へ

問 19 この1年間に、病気やケガで普段利用している認定こども園・幼稚園・保育園を利用できなかったことはありますか。(1つに○)

1. あった

2. なかった ⇒ 問 20 へ

問 19-1 あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している認定こども園・幼稚園・保育園を利用できなかった場合にどうされましたか。この1年間で行った対処方法をお答えください。それぞれのおおよその日数もお答えください。
(あてはまるものすべてに○、□に数字で記入、半日程度の場合は1日)

1. 父親が休んだ ⇒ 日

2. 母親が休んだ ⇒ 日

3. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた ⇒ 日 ⇒ 問 20 へ

4. 親族・知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった ⇒ 日

5. 病児(※)・病後児の保育を利用した ⇒ 日

6. ベビーシッター等を利用した ⇒ 日

7. ファミリー・サポート・センター(※)を利用した ⇒ 日

8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた ⇒ 日

9. その他() ⇒ 日

問 19-5 へ

(※) が付いている事業は現在山武市では未実施です。

問 19-1 で「1」「2」のいずれかに回答した方にお伺いします

問 19-2[平山11][ぎ12] その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。利用したいと思った日数もお答えください。なお、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。(1つに○、□に数字で記入)

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ 年間 日

2. 利用したいと思わない ⇒ 問 19-4 へ

問 19-3 へ

問 19-2[平山13][ぎ14]で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した方にお伺いします。

問 19-3 前ページの目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 他の施設（認定こども園・幼稚園・保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（居宅訪問型保育等）
4. その他（ ）

問 19-2[平山15][ぎ16]で「2. 利用したいと思わない」と回答した方にお伺いします。

問 19-4 利用したいと思わない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 病気的时候は自分で看たい
2. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安がある
3. 地域の事業の質に不安がある
4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかる
6. 利用料がわからない
7. その他（ ）

問 19-1 で「4. 親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった」から「9. その他」のいずれかと回答した方にお伺いします。

問 19-5 あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している認定こども園・幼稚園・保育園を利用できなかった場合、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。仕事を休んで看たかった日数もお答えください。（1つに○、□に数字で記入）

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ 年間 日 ⇒ 問 20 へ

2. 休んで看ることは非常に難しい

問 19-5 で「2. 休んで看ることは非常に難しい」と回答した方にお伺いします。

問 19-6 そう思われる理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない
4. その他（ ）

**あて名のお子さんの不特定の教育・保育や宿泊を伴う一時預かり等の
利用についてお伺いします。**

問 20 あて名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気、不特定の就労、私用、リフレッシュなど）で不定期に利用している事業はありますか。利用があれば、1年間のおおよその利用日数もお答えください。
(あてはまるものすべてに○、□に数字で記入)

- | | | | | | |
|-------------------------------------|---|----------------------|---|---|--------|
| 1. 一時預かり（理由によらず保育園等で一時的に子どもを保育する事業） | ⇒ | <input type="text"/> | 日 | } | 問 21 へ |
| 2. 認定こども園（短児部）の預かり保育 | ⇒ | <input type="text"/> | 日 | | |
| 3. ファミリー・サポート・センター（※） | ⇒ | <input type="text"/> | 日 | | |
| 4. トワイライトステイ（夜間養護等事業）（※） | ⇒ | <input type="text"/> | 日 | | |
| 5. ベビーシッター等 | ⇒ | <input type="text"/> | 日 | } | 問 22 へ |
| 6. その他（ <input type="text"/> ） | ⇒ | <input type="text"/> | 日 | | |

7. 利用していない

（※）が付いている事業は現在山武市では未実施です。

問 20 で「7. 利用していない」と回答した方にお伺いします。

問 20-1 現在利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------------------|-------------------------|
| 1. 特に利用する必要がない | 2. 利用したい事業が地域にない |
| 3. 事業の質に不安がある | 4. 利用しにくい（場所・利用時間・日数など） |
| 5. 利用料がかかる | 6. 利用料がわからない |
| 7. 対象者になるのかどうかかわからない | 8. 利用方法（手続き等）がわからない |
| 9. その他（ <input type="text"/> ） | |

問 21 あて名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気、不特定の就労、私用、リフレッシュなど）で、年間何日くらい事業（問 20.1～4 で示した事業）を利用したいと思いますか。おおよそ必要な日数をお答えください。
(あてはまるものすべてに○、□に数字で記入)

- | | | | |
|--------------------------------------|---|----------------------|---|
| 1. 冠婚葬祭、学校行事で利用したい | ⇒ | <input type="text"/> | 日 |
| 2. 保護者・家族の病気で利用したい | ⇒ | <input type="text"/> | 日 |
| 3. 不特定の就労で利用したい | ⇒ | <input type="text"/> | 日 |
| 4. 私用（買物、子どもや親の習い事等）、リフレッシュ目的で利用したい | ⇒ | <input type="text"/> | 日 |
| 5. その他（ <input type="text"/> ）で利用したい | ⇒ | <input type="text"/> | 日 |
| 6. 利用する必要はない | ⇒ | 問 22 へ | |

問 21-1 へ

問 21 で「1」～「5」のいずれかと回答した方にお伺いします。

問 21-1 問 21 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 他の施設(認定こども園・幼稚園・保育園等)に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(居宅訪問型保育等)
4. その他()

問 22 あて名のお子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気、不定期の就労、私用、リフレッシュなど)により、泊りがけで家族以外に預ける必要があると思いますか。ショートステイ(短期入所生活援助事業)の利用希望の有無について選択し、それぞれ年間に必要な泊数をご記入ください。(1つに○、□に数字で記入)
※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

- | | | | |
|-------------------------------------|---|----------------------|---|
| 1. 冠婚葬祭で利用したい | ⇒ | <input type="text"/> | 日 |
| 2. 保護者・家族の病気で利用したい | ⇒ | <input type="text"/> | 日 |
| 3. 不定期の就労で利用したい | ⇒ | <input type="text"/> | 日 |
| 4. 私用(買物、子どもや親の習い事等)、リフレッシュ目的で利用したい | ⇒ | <input type="text"/> | 日 |
| 5. その他()で利用したい | ⇒ | <input type="text"/> | 日 |
| 6. 利用する必要はない | | | |

問 23 以下の事業は現在山武市では実施していませんが、制度があれば利用したい事業はありますか。(あてはまるものすべてに○)

※事業の利用には、一定の利用料がかかる場合があります。

1. ファミリー・サポート・センター事業
2. ショートステイ(短期入所生活援助事業)
3. トワイライトステイ(夜間養護等事業)
4. 子育て世帯訪問支援事業(家事・育児の不安や負担が大きい家庭を訪問し、家事・育児支援を行う事業)
5. 児童育成支援拠点事業(家庭や学校に居場所のない児童等に対して、居場所となる場を提供する事業)
6. 親子関係形成支援事業(適切な親子関係を構築するために、児童とその保護者に対して、当該児童の発達状況に応じた支援を行う事業)
7. その他()
8. 特にない

お子さんが小学生になってからの放課後の過ごし方についてお伺いします。

問24 あて名のお子さんについて、小学校低学年(1~3年生)の時、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。それぞれ希望する週当たりの日数もご記入ください。また、「学童クラブ(学童保育)」と回答した方は利用したい利用時間もお答えください。(あてはまるものすべてに○、□に数字で記入、時間は24時間制)

- | | | | |
|---------------------------------|----|----------------------|--------------------------|
| 1. 自宅 | ⇒週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 2. 祖父母宅や友人・知人宅 | ⇒週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 3. 習い事
(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など) | ⇒週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 4. 放課後子ども教室 | ⇒週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 5. 学童クラブ(学童保育) | ⇒週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| | | ↳ 下校時から | <input type="text"/> 時まで |
| 6. ファミリー・サポート・センター | ⇒週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 7. その他(公民館、公園など) | ⇒週 | <input type="text"/> | 日くらい |

問25 先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。あて名のお子さんについて、小学校高学年(4~6年生)の時、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。それぞれ希望する週当たりの日数もご記入ください。また、「学童クラブ(学童保育)」と回答した方は利用したい時間もお答えください。(あてはまるものすべてに○、□に数字で記入、時間は24時間制)

- | | | | |
|---------------------------------|----|----------------------|--------------------------|
| 1. 自宅 | ⇒週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 2. 祖父母宅や友人・知人宅 | ⇒週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 3. 習い事
(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など) | ⇒週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 4. 放課後子ども教室 | ⇒週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 5. 学童クラブ(学童保育) | ⇒週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| | | ↳ 下校時から | <input type="text"/> 時まで |
| 6. ファミリー・サポート・センター | ⇒週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 7. その他(公民館、公園など) | ⇒週 | <input type="text"/> | 日くらい |

問26へ

問 24 または問 25 で「5. 学童クラブ（学童保育）」と回答した方にお伺いします。

問 26 あて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日及び長期の休暇期間中の学童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。利用希望がある場合は、利用したい時間帯をお答えください。（それぞれ1つに○、□に数字で記入、時間は24時間制）

(1) 土曜日

- 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
 - 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
 - 3. 利用する必要はない
- } ⇒ 利用したい時間帯
□ 時から □ 時まで

(2) 日曜日・祝日

- 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
 - 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
 - 3. 利用する必要はない
- } ⇒ 利用したい時間帯
□ 時から □ 時まで

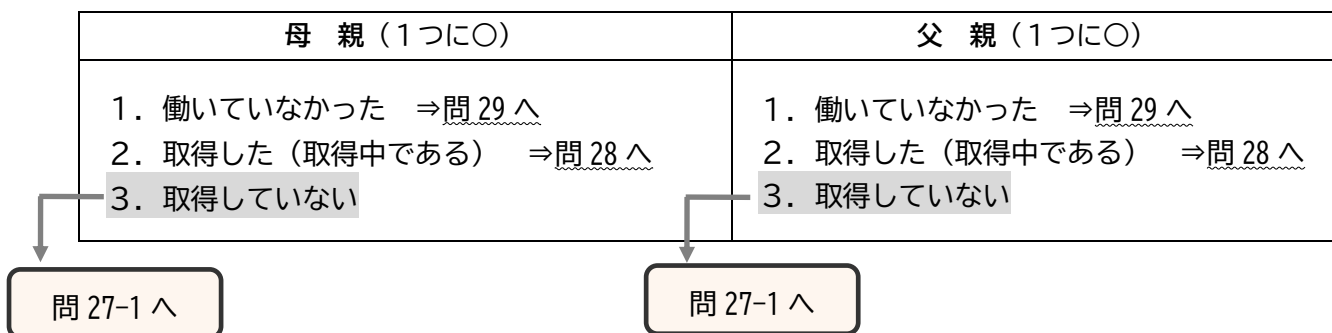
(3) 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中

- 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
 - 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
 - 3. 利用する必要はない
- } ⇒ 利用したい時間帯
□ 時から □ 時まで

[ぎ17]

育児休業等の取得・その後の復帰についてお伺いします。

問 27 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。（母親、父親それぞれについてあてはまるもの1つに○）



問 28 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にお伺いします。

問 28-1 育児休業から、「実際」にはお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで育児休業を取得したかったですか。（□内に数字で記入）

	母 親	父 親
実際の復帰時期	□ 歳 □ヶ月	□ 歳 □ヶ月
理想の復帰時期	□ 歳 □ヶ月	□ 歳 □ヶ月

問 28-2 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取得したかったですか。（□内に数字で記入）
希望がない方は、回答しなくて結構です。

	母 親	父 親
希 望	□ 歳 □ヶ月の時まで	□ 歳 □ヶ月の時まで

問 28-1 で実際の復帰と希望が異なる方にお伺いします。

問 28-3 希望の時期に職場復帰しなかった理由をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

(1) 「希望」より早く復帰した方

母 親	父 親
1. 希望する保育園に入るため	1. 希望する保育園に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他（ ）	5. その他（ ）

(2) 「希望」より遅く復帰した方

母 親	父 親
1. 子どもの成長を重視したため	1. 子どもの成長を重視したため
2. 希望する保育園に入れなかったため	2. 希望する保育園に入れなかったため
3. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	3. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
4. 配偶者や家族の希望があったため	4. 配偶者や家族の希望があったため
5. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	5. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
6. 子どもをみてくれる人がいなかったため	6. 子どもをみてくれる人がいなかったため
7. その他（ ）	7. その他（ ）

問 28 の母親、父親のいずれかで「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にお伺いします。

問 28-4 あて名のお子さんが1歳になったときに必ず預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。
(あてはまるもの1つに○)

母 親	父 親
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に復帰したい	2. 1歳になる前に復帰したい

問 29 仕事と子育ての両立に関して、大変だと感じることはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 急な残業が入ってしまう | 2. 子どもが急病時の対応 |
| 3. 職場の理解が得られない | 4. 保育園等が見つからない |
| 5. 子どもと接する時間が少ない | 6. その他 () |
| 7. 特になし | |

子育てに関する悩みや不安感についてお伺いします。

問 30 子育てに関して不安や負担などを感じていますか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 非常に不安や負担を感じる | 2. なんとなく不安や負担を感じる |
| 3. あまり不安や負担などは感じない | 4. まったく感じない |
| 5. なんともいえない | |

問 31 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 病気や発育・発達に関すること
2. 食事や栄養に関すること
3. 育児の方法がよくわからないこと
4. 子どもとの接し方に自信が持てないこと
5. 子どもとの時間を十分にとれないこと
6. 話し相手や相談相手がいないこと
7. 仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと
8. 子どもの教育に関すること
9. 友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること
10. 登園拒否、不登校などの問題について
11. 子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと
12. 配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと
13. 自分の子育てについて、親族と意見が合わないこと
14. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
15. 子どもを叱りすぎているような気がする
16. 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと
17. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと
18. その他 ()
19. 特になし

問 34 市の子育ての環境や支援の満足度はいかがですか。(1つに○) [ぎ18]

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 大変満足している | 2. まあ満足している |
| 3. どちらともいえない | 4. やや不満である |
| 5. 不満である | |

問 35 市に対して、子育てサービスの現状やあなたの子育て経験などから、どのような支援策の充実を図ってほしいですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する
2. 親子が安心して集まれる認定こども園や幼稚園、保育園の運動場の開放を増やす
3. 親子が安心して集まれるつどいの広場などの屋内の施設を整備する
4. 子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくりや、車道と歩道の段差の解消(適正な段差へ修正)などの「子育てのバリアフリー化」に取り組む
5. 妊娠・出産・育児(産後ケア含む)の切れ目ない支援を充実する
6. 子育てに困ったときの相談体制を充実する
7. 子育て支援に関する情報提供を充実する
8. 子育て中の親の仲間づくりや、子育ての知識や技能の取得に役立つ講座等の内容の充実を図る
9. 子育てサークル活動への支援を充実する
10. 認定こども園・幼稚園・保育園など子どもを預ける施設を増やす
11. 子どもの一時預かりなどのサービスを充実する
12. 誰でも気軽に利用できるNPOなどによる子育て支援サービスに対する支援を行う
13. 小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する
14. 子どもの安全を確保する対策を充実する
15. 子育ての講座など子育てについて学べる機会をつくる
16. 育児休業給付、児童手当、子ども医療費助成など、子育て世帯への経済的援助を拡充する
17. 市営住宅の優先入居など住宅面での配慮や支援に取り組む
18. 子どもの居場所として、こども食堂など食事提供がある事業を充実する
19. その他 ()
20. 特になし

問 36 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、自由にご記入ください。

Blank area for writing answers, consisting of multiple horizontal dashed lines.

質問は以上です。調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

3月25日(月)までに、同封の返信用封筒に入れて郵便ポストにご投函ください。また、市立のこども園、幼稚園、私立の保育園に通われている方は、各園でもお預かりします。

